

5.電気工事

⚠ 警告

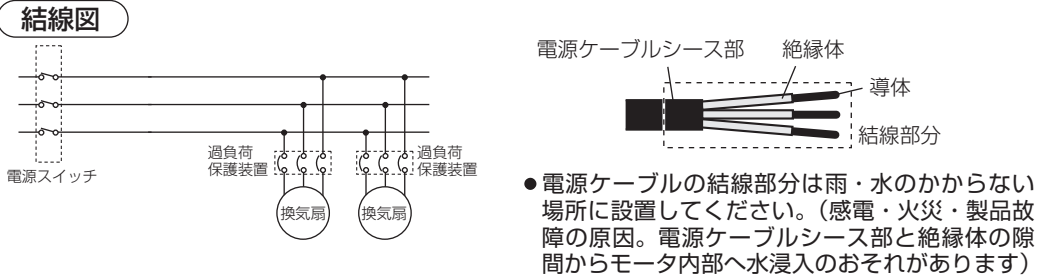
●定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因

●アース工事は必ず有資格者である電気工
士が電気設備の技術基準や内線規程に従っ
て安全・確実に行う
漏電のときに感電の原因

⚠ 注意

●電気工事は必ず有資格者である電気工
事士が内線規程や電気設備技術基準に従っ
て行う。絶対に「手より接続」はしない。
電源ケーブルの結線部分は安全上、JIS C
8340 の「電線管用金属製ボックス」内
にて行う。又、電源ケーブルの結線部分
には雨・水がかからないように電気工事
を行う
接触不良や誤った電気工事は感電、火災
の原因

- 50Hz 製品と 60Hz 製品がありますので電源の間違いが
ないか確認して接続してください。間違っ
た電源・接続で運転されま
すとモータが焼損します。
- 電気設備技術基準に基づき、電気工事
士による D 種接地工事（アース）を行
うとともに、漏電ブレーカを必ず設置
する。（故障、漏電時の感電防止）
- アース工事を行う際、アース線の端部
には丸型端子を使用してください。丸型
端子は、材質が銅または黄銅でスズメ
ッキ品等、さびに強い品物を使用し
てください。その他の場合、さびが
発生するおそれがあります。さびが
発生した場合は交換してください。
- モータ焼損防止および、配線回路保護
のため換気扇 1 台ごとに過負荷保護装
置を使用してください。（過負荷保護装
置は、3.0A を使用してください）
- 電源ケーブルに市販の電源プラグを取
り付ける際は引掛形差込プラグを使
用ください。また、電源プラグはが
たつきのないよう刃の根元まで確
実に差し込んでください。



6.試運転

■電気工事終了後、正常に運転できるか使用者立会のもと試運転を行ってください。

1. 据付工事終了後、次のことを確認します。
 - (1) 換気扇は確実に据付けてありますか（落下によりけがの原因）
 - (2) 電源ケーブルに傷・いたみはありませんか（火災や感電の原因）
 - (3) 正しくアース工事がしてありますか（故障や漏電のときに感電の原因）
 - (4) 過負荷保護装置を接続しましたか（モータ焼損の原因）
 - (5) 欠相になっていませんか（モータ焼損の原因）
2. ブレーカを「入」にして試運転を行う。
 - (1) 換気扇は始動しますか（電源の接続を確認する）
 - (2) 異常な振動や騒音はありませんか（据付工事を確認する）
 - (3) 回転方向が逆ではありませんか（3 相品の回転方向を修正する場合は、3 本の電源のうち 2 本を入れ換える）

取扱説明 お客様へ

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの			
 禁止	換気扇を水や消毒液につけない ショート・感電・火災の原因	 ぬれ手禁止	ぬれた手で操作をしない 感電やけがの原因
	電源ケーブルの結線部分に水をかけない 感電・火災・製品故障の原因		
 分解禁止	どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理技術者以外の人は行わない 火災・感電・けがの原因 修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください	 指示に従う	お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る 感電やけがの原因
	運転中は危険ですから、換気扇の中に指や物を入れない けがの原因		振動が大きい、羽根が回らないなどの異常時には、使用を中止する 落下・焼損の原因
 接触禁止	電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（こげ臭いなど）・停電時は、製品には絶対に触れない 突然運転し始めてけがや感電の原因		据付けは専門業者に依頼する 漏電・感電や災害の原因
			シーズン前および自然災害発生後は異常がないか点検を行う 落下・焼損の原因

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの			
禁止	換気扇に異常な振動が発生した場合は使用しない 換気扇・部品の落下によりけがの原因	指示に従う	長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカを切る 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因
	1 日 50 回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない 部品の破損・落下によるけがの原因		羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃をする 振動による部品の破損、落下によるけがの原因
	衝撃を与えない 感電や火災の原因		お手入れや保守点検の際は手袋を着用する 端面などでけがの原因
禁止	台風時、強風時には使用しない 落下・故障の原因	指示に従う	お手入れや保守点検の際は手袋を着用する 端面などでけがの原因
	換気扇に異常な振動が発生した場合は使用しない 換気扇・部品の落下によりけがの原因		

2.使用方法

運転する： 電源スイッチを「入」にする

停止する： 電源スイッチを「切」にする

⚠ 警告

●運転中は危険ですから換気扇の中に指や物を入れない
けがの原因

●ぬれた手で操作しない
感電やけがの原因

●電源ケーブルの結線部分に水をかけない
感電・火災・製品故障の原因
（電源ケーブルシース部と絶縁体の隙間からモータ内部へ水浸入のおそれがあります）

3.点検・お手入れ

長い間で使用の換気扇は、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。

⚠ 警告

●保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る
感電やけがの原因

⚠ 注意

●保守点検の際は手袋を着用する
端面などでけがの原因

●お手入れの際は電源ケーブルの結線部分に水がかか
らないよう行ってください
感電、火災、製品故障の原因

1 か月に 1 度の清掃の際、下記の点検を行う。

点 検 項 目		処 置
さ び	●換気扇および換気扇取付用ナット・ボルトがさびていませんか ●羽根および羽根取付用のナットがさびていませんか	●さびが部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください（部品落下および羽根破損 / 落下によるけがのおそれがあります）
ガタツキ	●換気扇を据付けたナット・ボルトなどが確実に取付けてありますか ●羽根やモータは確実に止められていますか	●ガタつきがないようにナット・ボルトなどを確実に取付けてください（換気扇落下および羽根落下によるけがのおそれがあります）
損 傷	●モータの外観が変色していませんか ●電源ケーブルにキズなどありませんか ●羽根に亀裂などありませんか	●モータ交換をしてください ●モータ交換をしてください ●羽根交換をしてください（羽根破損 / 落下によるけがのおそれがあります）
ほ こ り	●モータなど温度の高い部分にほこりの付着はありませんか ●ガードは目詰まりしていませんか ●羽根の広範囲にほこりが付着していませんか	●清掃してください

1 年に 1 回程度

異 常 音	●ボールベアリングの寿命は約 3 万時間ですので使用状況によっては、点検のうえモータ交換が必要です
さ び	●さびが部品の広範囲に発生している場合は、部品を交換してください
電源ケーブル	●電源ケーブルにヒビ割れ等がある場合には、モータの交換をしてください

約 2 か月に 1 度を目安に清掃する。

■お手入れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

●お願い ●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうさんの薬剤、クレンザー等けん材入りの洗剤（変質・変色する原因になります）

- ほこりの多い場所で使用している場合は 2 か月に 1 度を目安に、下側のドレンプラグをはずしてドレンを抜き、元通りドレンプラグを取付ける。
- 油・粉じんなどの可燃性の汚れが換気扇に付着していると、万が一の飛び火により火災の原因となるおそれがあります。必ず定期的（1 年目安）に清掃してください。
- モータ単品では絶対に水洗いしないでください。（モータ内および軸受部に水がかかると漏電事故の危険があります）
- 農薬・肥料・消毒液が換気扇に付着した場合は、水で洗い流してください。（換気扇の寿命を著しく短くします）
- 古くなった換気扇は買い換えてください。
- 高圧水洗浄時は洗浄ノズルを拡散にし、50cm 以上離して洗浄してください。直射や近距離からの洗浄は羽根変形など製品破損の原因となるおそれがあります。高圧水洗浄機の取扱説明書に従って、正しく使用してください。

保管のしかた

必ず電源を切り、換気扇への水やほこりの侵入がないようにビニールシートなどで覆ってください。

4.修理を依頼する前に

下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、事故防止のためブレーカを切り、お買上げの販売店・工事店に点検修理をご依頼ください。費用については販売店・工事店にご相談ください。

現 象	点 検 と 処 置	点検実施者	
		工事店様	お客様
通電しても回転しない	●電源の接続は正しいですか（正しく接続する） ●ブレーカが切れていませんか（入にする）	○	○
運転中に異常音や振動がする	●羽根の締め付けがゆるんでいませんか（締め付け直す） ●本体が確実に据付けられていますか（据付け直す） ●軸受の音がしていませんか（モータを交換する） ●全面にさびが発生していませんか（さびの発生した部品を交換する）	○ ○ ○ ○	
焦げ臭いにおいがする	●羽根は軽く回りますか（羽根に何か引掛かっている場合は取り除く） ●周囲温度が 40℃ 以下ですか（周囲温度を下げるか、運転を停止する） ●絶縁劣化していませんか（モータを交換する）	○ ○ ○	 ○

5.アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口（添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」参照）にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの農事用有圧換気扇角形タイプの補修用性能部品を製造打ち切り後 9 年保有しています。補修用性能部品とは、その換気扇の機能を維持するために必要な部品です。この換気扇は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

6.仕 様

形 名	羽根径 (cm)	電 源 (V)	周波数 (Hz)	風 量 (m³/min)	騒 音 (dB)	最大負荷電流 (A)	質 量 (kg)
KH-100ETF-50	100	3 相 200	50	345	63	2.4	30
KH-100ETF-60			60		66	2.5	30
KH-100ETFG-50			50		63	2.4	32
KH-100ETFG-60			60		66	2.5	32

※風量は、オリフィスチャンバー法によって測定した換気扇として使用する場合の測定値です。
※仕様値は、変更になる場合があります。
※周囲温度は－10℃～＋40℃、常温において相対湿度 90％まで使用可能です。この範囲を超えま
すと焼損、変形、回転不良、破損につながるおそれがあります。